

令和6年度事業計画

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行され、生活が通常に戻ってきました。しかし一方で、ロシアによるウクライナ侵攻が続き食料やエネルギーの供給は依然不安定で、加えて円安の継続によって、輸入飼料がかつてないほどに高騰しました。一昨年に引き続き畜産業界が大きく影響を受けた年となりました。

今年も引き続き予断を許さない状況が見込まれることから、これまでの事業を確実に推進するとともに、これからの畜産経営の姿を見据えて、早急に対応すべき課題については従来事業をより重点化する部分を明確にして展開し、場合によっては新たな事業創出も必要になってくると考えられます。

具体的には、正確な生産技術に立脚した経営指導を基本としながら、畜産経営の高収益化やスマート化の促進、慢性疾病の抑制や悪性疾病の発生予防及びまん延防止対策、農場HACCPの推進、県産畜産物の需要拡大などに重点的に取り組むとともに、国の制度に基づく肉用子牛生産者補給金制度や肉用牛肥育経営安定交付金制度などの各制度の適切な運用、家畜改良及び技術向上を目的とした研修会や共進会などと併せて各種情報発信についても県や関連団体と連携しながら引き続き取り組んでいくこととします。

特に令和6年度は、新たにスマート化を目的とした新規補助事業を県及び独自財源を併せて創設するとともに、国の食料安全保障の目玉であり畜産経営の安定に資する自給飼料対策も独自に創設し、飼料自給率の向上を促進します。

こうした各種事業を効果的に進めることで、本県畜産の生産基盤の維持強化を進めていくこととします。

I 畜産経営を支援する事業

1 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会）公益

畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産の活性化、安全かつ安定的な畜産物の供給及びこれに準ずる畜産振興を図る事業を実施

2 畜産コンサルタント等設置事業（県）公益

畜産経営の改善を図るため、組織活動支援を含めた経営改善指導を実施するためのコンサルタント団の整備

（計画 非常勤畜産コンサルタント 30 名委嘱）

3 会報誌編集発行事業（協会単独）その他

畜産等に関する各種情報を収集し、「畜産ネットワークちば」を発行

（計画 年 3 回発行）

4 地域畜産総合支援体制整備事業（県）公益

「千葉県畜産経営体等支援指導推進計画」に基づき県及び関係団体等で構成する支援指導体制による個別経営への支援及び地域セミナーの開催、経営関係情報の提供

（計画 酪農経営 11 戸、地域セミナー10 回）

5 貸付事業指導等事業（（公財）畜産近代化リース協会）その他

畜産経営の近代化と安定化を図るために実施している公益財団法人畜産近代化リース協会からの機械・施設等貸付事業の借受者を対象とした確認調査及び指導

（計画 13 件）

6 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会）公益

県支援協議会において畜産経営維持緊急支援資金の借入者や畜産経営改善緊急支援資金の借入者等の経営改善進捗状況について調査・指導

（計画 指導農家 4 戸、支援協議会 2 回）

7 肉用牛経営安定対策補完事業（（独）農畜産業振興機構）公益

地域経済の活性化に重要な役割を果たしている肉用牛生産の安定を図るために、高齢化に対処するヘルパー組織への支援

（計画 2 組合）

8 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る事業推進業務 公益

畜産クラスター協議会に参画する中心的経営体が行う収益力強化等のための機械導入事業及び繁殖雌牛更新加速化事業の本県窓口としての業務執行

（1）機械導入事業（（公社）中央畜産会）

（2）優良繁殖雌牛更新加速化事業（（一社）全国肉用牛振興基金協会）

9 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）及び酪農パワーアップ事業（楽酪 G0 事業）に係る事業推進業務（（公社）中央畜産会）公益

酪農及び肉用牛生産者における労働負担軽減・省力化等の取組みに必要な機械装置の導入を支援するための事業の本県窓口としての業務執行

10 養豚経営安定対策補完事業（（独）農畜産業振興機構）**公益**

養豚経営の体質強化を図るため、純粋種豚、精液、一代雑種雌豚の導入に要する経費の一部を支援

（計画 一代雑種雌豚 270 頭）

11 生産技術情報提供事業（（公社）中央畜産会）**公益**

酪農及び肉用牛経営のデータの収集及びその分析結果に基づく指導

（計画 8 戸）

12 スマート畜産推進事業（県及び協会）**公益** **新規**

畜産経営における生産性の向上と省力化を図るためにスマート技術の導入を支援

（計画 4 戸）

13 自給飼料増産緊急対策事業（協会単独）**公益** **新規**

畜産経営の安定に資する飼料作物の増産を図るため、奨励品種の普及や二毛作など単収向上を目的とした取組を推進

（計画 取組面積 20ha）

Ⅱ 畜産経営を守る事業

1 家畜生産農場衛生対策事業（国庫）**公益**

牛ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫（E B L）及び牛ウイルス性下痢の清浄化対策並びに予防接種によるアカバネ病等の発生・流行防止対策を推進し、自主的な家畜防疫意識の向上と家畜の損耗防止を図る。

（1）牛ヨーネ病清浄化支援対策事業

（計画 淘汰：5 頭）

（2）牛伝染性リンパ腫清浄化支援対策事業

（計画 検査：500 頭、淘汰：10 頭、吸血昆虫の忌避・駆除：5 戸）

（3）B V D対策事業

（計画 会議：1 回、検査：9,000 頭、ワクチン接種：100 頭、淘汰：15 頭）

（4）疾病発生・流行防止支援対策事業

（計画 牛異常産（アカバネ病含む）混合ワクチン接種：8,500 頭

アカバネ病単味ワクチン接種：2,500 頭）

2 家畜防疫互助基金支援事業に係る事業推進業務（（公社）中央畜産会、（独）農畜産業振興機構）**公益**

畜産経営に甚大な影響を及ぼす海外悪性伝染病（口蹄疫・牛肺疫・牛疫・豚熱・アフリ

カ豚熱の5疾病)の発生時の損害補償及び経営再建に備え、牛及び豚飼養者による互助基金の造成を支援本県窓口としての業務執行

(事業対象年間：令和6年度から8年度)

(事業参加：牛飼養農家447戸、豚飼養農家139戸)

3 牛疾病検査円滑化推進対策事業(国庫) **公益**

牛海綿状脳症(BSE)検査が必要な96ヶ月齢以上の死亡牛の円滑・適正な処理を推進するため、死亡牛の発生農場から化製場までの輸送費及び焼却処理経費に対し助成

(計画：10頭)

4 馬飼養衛生管理特別対策事業((公社)中央畜産会) **その他**

多様化する馬の飼養衛生管理の充実強化を図るため技術講習や臨床実習、実態調査などを実施

(計画 技術講習、臨床実習、検討会議、実態調査 各1回)

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業((公社)中央畜産会) **その他**

馬における重要疾病(馬インフルエンザ、馬鼻肺炎、日本脳炎、破傷風、馬のゲタウイルス感染症)に対する高い免疫の確保、維持を図るため、生産者等と一体となったワクチン予防接種等を実施

(計画 馬インフルエンザ595頭(乗用馬等550頭、育成馬45頭)、3種混合35頭)

6 家畜防疫・衛生指導対策事業((公社)中央畜産会) **公益**

(1) 地域自衛防疫推進事業

ア 自衛防疫の取組を促進するための体制の確認や計画の検討

(計画 2回)

イ 高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の発生時の迅速かつ的確な防疫措置のための防疫演習を県と連携して開催

(計画 1回)

(2) 地域疾病対策事業

船橋競馬場の競走馬に係る馬伝染性貧血の抽出サーベランス検査の実施

(計画 60頭)

(3) 地域農場HACCP認証支援事業

農場HACCPの構築指導並びに普及推進のための検討会を開催するとともに、既認証農場に対して内部監査等のフォローアップを実施

(計画 普及推進協議会2回、指導及び実態調査延べ350回)

7 地域養豚生産衛生向上対策支援事業((公社)中央畜産会) **公益**

生産性を著しく阻害する慢性疾病(PED、PRRS、オーエスキー病等)の発生の低減とまん延防止を図るため、農場管理対策の検討、モニタリング検査等により清浄化農場の維持拡大を推進

(計画 検討会8回、参加農家50戸、検査頭数3,400頭)

8 市町村等自衛防疫活動支援事業（協会単独） **公益**

当協会で実施する家畜衛生業務の円滑かつ的確な推進を図るため、市町村家畜防疫会等の行う自衛防疫活動に対し支援

（計画 47 団体）

9 特定疾病損耗防止事業（協会単独） **公益**

家畜伝染性疾病の発生・蔓延防止を図るため、農家が自主的に取り組む特定疾病のワクチン接種を支援

（計画 牛伝染性鼻気管炎ワクチン 2,000 頭、豚丹毒生ワクチン 2,800 頭、日本脳炎・パルボワクチン 230 頭）

10 家畜伝染性疾病防疫活動円滑化推進事業（協会単独） **その他**

県内の防疫活動を円滑に推進するため、口蹄疫や PED などの家畜伝染性疾病の発生時に、消毒用機器や防疫対応資材を速やかに運搬するための車両を千葉県へ貸与

（計画 1 台）

11 生産農場衛生対策緊急強化事業（協会単独） **公益**

農場の飼養衛生管理基準の改正・強化に対応するため、飼養衛生管理基準改定の啓発・普及を図るとともに、農場の外国人労働者等への衛生研修等を実施

（計画 外国語版パンフレット作製 1 種類 研修会 1 回）

Ⅲ 畜産を活性化する事業

1 地域畜産支援指導等体制強化事業（畜産関係団体調整機能強化事業）（（公社）中央畜産会） **その他**

県内の生産者や関係団体との連携強化を図るための活動に対し支援

2 畜産フードチェーン連携推進事業（協会単独） **公益**

畜産や畜産物に対する普及啓発や理解の促進並びに消費拡大を図るため、関係機関・団体の施設や船橋競馬場、民間商業施設等において、畜産物フェスタやふれあい体験交流等を実施

3 畜産フェア（協会単独） **公益**

消費者に千葉県の畜産・畜産物への理解を深めてもらうため、県内畜産関係団体の出展等によるイベントを開催

（計画 時期 11 月、出展 14 団体）

4 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業に係る事業受託事務（（一社）日本畜産物輸出促進協会） **公益** **新規**

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会が実施する輸出に対する生産者の理解醸成を図るための普及・啓発活動の本県窓口としての業務執行

IV 畜産物の品質向上を図る事業

1 養豚改良対策事業 その他

登録登録、肉豚共進会を通じ本県の豚の改良推進

(1) 登録事業（協会単独）

種豚改良を目的とした登録を一般社団法人日本養豚協会の登録規定に基づき実施

（計画 種豚登録 200 頭、子豚登記 200 頭、肉豚証明 800 頭）

(2) 肉豚共進会事業（県）

肉豚の改良成果を競い合い、もって種豚の重要性と品質の高い豚肉生産技術の向上を図るため肉豚共進会を開催

（計画 時期：10 月上旬、出品：200 頭）

(3) 優良種豚場認定事業（（一社）日本養豚協会）

純粋種豚の生産基盤強化と登録事業の推進を図るため、一般社団法人日本養豚協会認定規定に基づき認定を受ける養豚場を支援

（計画 遺伝資源保存指定種豚場 3 カ所）

(4) 原種豚認定事業（協会単独）

純粋種豚の改良を担う農場の認定と認定農場を対象に種豚の認定、能力血統の証明等への助成

（計画 認定農場：3 場

能力血統の証明：子豚登記 80 頭、種豚登録 50 頭、肉豚証明 800 頭）

2 千葉県産オリジナル豚肉推進事業（県） 公益 組替新規

飼養管理に優れた L 4 導入農場における L 4 由来の一代雑種（L 4 W）及び肉豚（L 4 WD）の産肉成績及び経営成績について、農場間の成績比較や一般豚と系統豚の成績比較を実施し、飼養改善と成績の向上及び経営改善を図る。

（計画 5 戸実施）

V 畜産経営の安定化を図る事業

1 肉用子牛生産者補給金制度（（独）農畜産業振興機構） 公益

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に、肉用子牛の生産者に対し生産者補給金を交付する。

（業務対象年間 令和 2 年度から 6 年度）

（登録計画 黒毛和種：950 頭、その他肉専用種：10 頭、交雑種：8,200 頭、乳用種 1,040 頭、計 10,200 頭）

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（（独）農畜産業振興機構）公益

（１）肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務を適正に実施するために、全国統一電算事務処理システムによる処理の推進、事務委託先及び契約生産者への指導、肉用子牛取引情報の収集分析を実施
（事務委託先 9 か所）

（２）指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度事務の円滑な推進

3 優良和子牛生産推進緊急支援事業（（独）農畜産業振興機構）公益 組替新規

和子牛価格が堅調に推移するまでの間、子牛価格の下落時に飼養管理向上に取り組む肉用牛繁殖経営に対し奨励金を交付
（計画 30 戸）

4 肉用牛肥育経営安定交付金制度（（独）農畜産業振興機構）公益

畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付
（業務対象年間：令和4年度から7年度）
（登録計画、肉専用種：4,150 頭、交雑種：12,150 頭、乳用種：2,000 頭、
計：18,300 頭）

5 千葉県肉豚経営安定対策事業（県）公益

養豚経営の安定と肉豚の安定的な生産を確保するため、独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度の生産者負担金の一部を助成
（計画 150 戸 1,100 千頭）

6 政策要請活動（協会単独）その他

畜産に係る諸問題解決のため、生産者組織・関係団体等と連携し、中央団体を通して関係官庁に陳情及び要請を行う。

VI 特別事業

1 種豚改良対策基金（協会単独）その他

良質な豚肉を生産するための純粋種豚の改良推進を目的に造成した基金を活用し、原種豚農場、登録料、肉豚共進会への助成を実施する。

2 災害支援活動等（協会単独）公益 新規

県内外で大きな災害が発生し、被害が広域で甚大であった場合の被災地への支援

VII その他

1 千葉県畜産物消費拡大推進協議会関連事業

県域畜産関係団体で組織し、安全・安心な県畜産物の安定的な生産と流通・消費の拡大を図る団体事務局の執行、主要行事として 11 月に畜産フェアを畜産協会と共催

2 千葉県養蜂協会関連事業

養蜂業者で組織し、養蜂振興法に基づいた蜜蜂転飼調整や、養蜂が抱える諸問題の調査等を行う団体事務の執行

3 千葉県馬事畜産振興推進事業

馬事・畜産関連団体で組織し、地方競馬の振興と理解を深める活動を行う団体事務の執行

4 ナイスポークチバ推進協議会関連事業

養豚経営者で組織し、消費拡大の推進、政策要請、若手後継者育成などを実施する団体事務の執行

令和 6 年度の重点活動は、飼養衛生管理基準に基づき各農場における防疫対策の強化と、家伝法により殺処分される家畜の処理を埋却から焼却へと方向転換を求めている。

5 千葉県自家検定推進協議会関連事業

種豚の改良を担う生産者で組織し、原種豚の確保や種豚の改良に取り組む団体事務の執行

6 ちば畜産レディースネットワーク関連事業

県内の畜産に携わる女性で組織し、相互交流、研鑽する場の提供、消費者交流の促進などに取り組む団体事務の執行

7 NPO 法人いきいき畜産ちばサポートセンター関連事業

国、県及び団体等を退職した高度な畜産技術のスキルを持つシニアで組織し、県内で畜産業を営む農家に対し、技術支援をする団体事務の執行

令和 6 年度は、農場 HACCP 認証構築指導、死亡牛の受入保管等補助業務委託、JGAP 認証支援を重点的に実施

8 チバザビーフ協議会関連事業

肉用牛生産者で組織し、チバザビーフの統一名称のもと品質向上や販売促進活動によるブランド力強化に取り組む団体事務の執行

9 チバザポーク販売推進協議会関連事業

千葉県産の豚肉銘柄団体で組織し、チバザポークの統一名称のもと高度な飼養管理体制の強化や販売促進活動などによるブランド力強化に取り組む団体事務の執行

10 千葉県CSF感染拡大防止対策協議会関連事業

野生イノシシにおけるCSFウイルス拡散防止を図り、もってCSFの発生予防とまん延防止に取り組む団体事務の執行